



迷える時代の生きる指針マガジン

100の言い訳より1の行動

～生き方3.0時代～

かさこマガジン

vol.3 2013.1

写真・文=カメライーターかさこ

prologue 弱い自分に負けそうになった時に

時代や社会が大きく変わり始めている今、
何を指針にどう生きていいのかが、わかりづらくなった。
今まで信じられていたものが、信じられなくなり、
今まで正しいと思っていたことが、正しくなくなり、
こうすれば成功すると考えられていたビジネスモデルが、
あとかたもなく崩れ去り、
せっかく習得した技術が通用しなくなり、
機械にとって代わられたりもしている。

でも悲観することはない。

いやむしろこれほどの好機はない。

変化が激しく、価値観が流動化している時代だからこそ、
生き方の選択肢は飛躍的に増えている。

自分次第で人生がバラ色に変えられる可能性が、
ぐんと増した素晴らしい時代が訪れようとしている。

つつい「できない」とあきらめてしまう。

「そんなこと自分には無理」と思い込んでしまう。

いざやろうと思っていても、失敗が怖くて行動に移せない。

そんな弱い自分が現われたら、

この「かさこマガジン」を読み返してほしい。

口ばかり達者でろくに行動せず、

自分に言い訳ばかりしていた私が25歳で心を入れ替え、

悩み、迷い、もがき、さまよいながらも、

これまで行動してきたことを凝縮している。

きっといいことある。

迷える時代の生きるヒントになれば。

message 1 死を想え

なぜ不満な生活をずっと続けているのだろうか？

なぜ文句ばかり言っている生活に安住しているのだろうか？

なぜ好きでもない仕事を続け、

好きでもない会社に行き続けているのだろうか？

もし1年後に大地震で死ぬとわかったら、

今の生活を続けるだろうか？

余命が1年だと知ったら、何を真っ先にやるか。

何を真っ先にやめるか。

このままの人生で後悔はない？

死はいつか突然、思いも寄らぬ形でやってくる。

それは311を見れば明らかだ。

東日本大震災を契機に生き方を変えた人が多くいる。

なぜならいつ死んでしまうかもわからないのに、
つまらない生活を続けているなんてバカらしいからだ。

遠い未来の老後を心配したところで、

自分はそんな年まで生きているかもわからないと気づいたからだ。

今を120%生きる。

イヤなことは時間の無駄。

すぐやめる。

やりたいことからやる。

想定外の災害が頻発する世の中だから。

100の言い訳より1の行動。

文句の達人ではなく、行動の達人に。

人生、楽しまなくちゃ、もったいない。

せっかく与えられた命(チャンス)をフルに活用したい。

message 2 会社がイヤなら辞めればいい

「仕事がイヤ」「会社がイヤ」「上司がイヤ」。

毎日毎日、愚痴ばかり。

ねえ、なんでそんなイヤなこと続けてるの？

イヤなら辞めればいい。

辞めたら生活できない？ホント？

今の会社以外に選択肢がないと思うのなら、文句言っていないで、

会社をよくする提案なり工夫なりをすればいい。

だってあなたは社員。外野じゃない。

それでもよくなるなら、キッパリ辞めるべきだ。

会社なんて、仕事なんて、腐るほどある。

イヤな会社にしがみついても終身雇用は確約されない。

いつか捨てられるなら、死ぬ覚悟で楽しい道を探したら？

2012年2月に私は会社を辞めた。

子供が生まれるというのに、いい歳して社長とケンカして、

会社を辞めるなんてクレイジーだと思うかもしれない。

転職のあてがあるわけではなく、フリーになった。

でも会社を辞めて思ったこと。

それは「もっと早く会社を辞めればよかった」との後悔だった。

通勤電車に乗らなくていい快適さ。

子育てしながら仕事ができるうれしさ。

仕事以外のこともしながら、時間をやりくりできる幸せ。

会社がイヤなら辞めればいい。

辞められないなら会社をよくすればいい。

どちらもできないなら、働いている意味ないんじゃない？

message 3 個人が主役の時代がやってきた

組織の寿命が短くなっている。

大企業でも潰れる時代になった。

世界各地でデモが頻発しているように、

国家という巨大組織も危うい。

これから個の時代がやってくる。

誰もがサッカー選手のように、

自分の経験・技能・意欲を武器に、

組織を転々と渡り歩き、

そこでの役割を発揮し報酬をもらう。

サラリーマンの世界にも、

フリーエージェントな仕組みが導入される。

正社員は1人もいなくなるだろう。

みんな「フリーランス（傭兵）」になる。

実力のあるものにとって、これほどいい時代はない。

自分の個性を活かせる場を求めて、

組織が衰退しても、個人は生き延びられるからだ。

一方、個の力を磨かず、

組織の内輪の論理にばかり気を使い、

惰性で会社にしがみついている人は厳しい。

そういう人ほどナショナリズムに逃げ込み、

「支配してくれ」「束縛してくれ」と、自由からの逃走を叫ぶ。

しかし国家という仕組み自体が、今や砂上の楼閣だ。

奇しくもSNSが発展し、簡単に自分自身をアピールし、

しがらみを超えたつながりが可能になった。

これからは個人が主役の時代。

組織に頼らず、個の力をつけておくことが、

楽しく生きていける源泉となるだろう。

message4 好きなことを続けたもん勝ち

組織や国家が頼りにならない時代に、
個の力をどう磨けばいいのか？
答えは簡単。
好きなことをやり続けることだ。

どんくんだりないことでもいい。
金にならなそうなことでもいい。
とにかく自分が好きだということ続ける。
そしてそれをネットで発表する。
これを10年も続ければ、まず食いつぶぐれない。

才能とは持続する情熱。

だいたいみんなすぐにやめてしまう。
だから、やり続けたものが、
その道のスペシャリストになる。
夢がかなう方法はただ1つ。
夢がかなうまでやり続けられるかだ。

でもなぜ続かないのか？
本当に好きなことではないから。
まだどこかで損得計算している。
本当はそんなに好きじゃないけど、
こっちの方が儲かりそうだとかラクそうだとか。
だからダメだということに早く気づいた方がいい。

自分の本音にウソをつくな。
実現可能性は考えなくていい。
本当に心からやりたいことをすればいい。
寝食忘れて熱中できるもの。
それがあなたの天職だ。

message5 飛び抜けた専門性より才能のかけ算

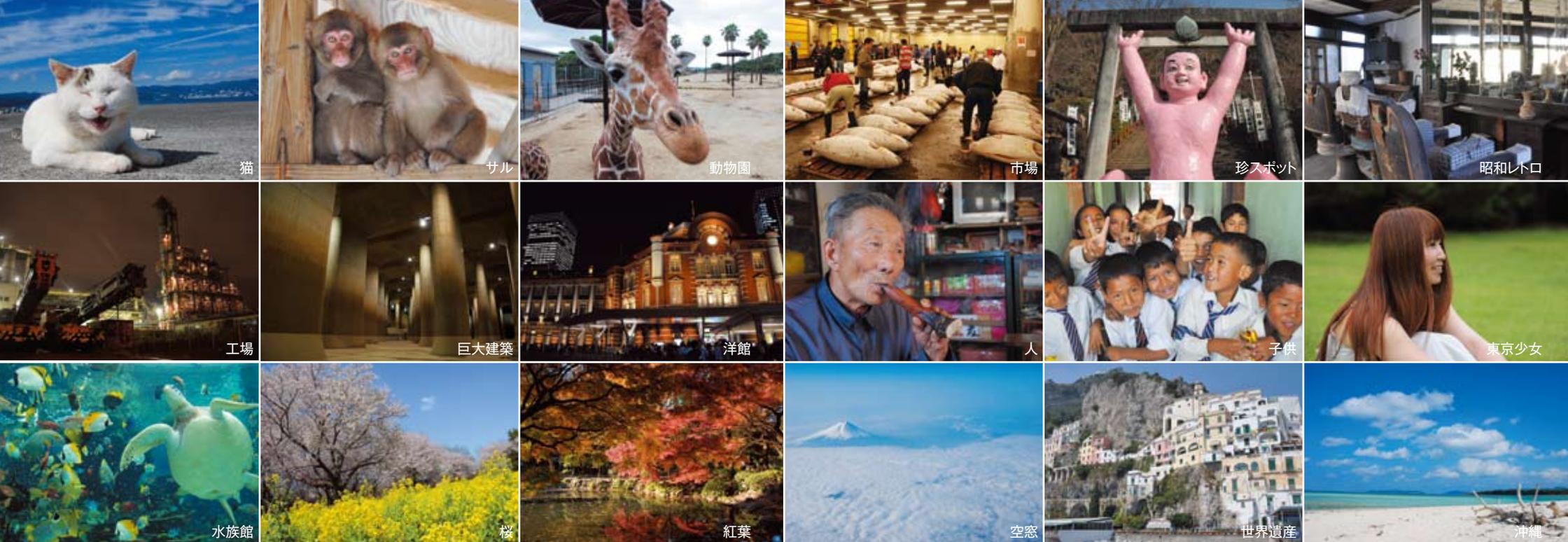
才能なんかない。これといって好きなものもない。
飛び抜けた専門性がないという人も多いだろう。
別にそれでいいい。

これからの時代、1つの専門性だけでは生きていけない。
なぜならその専門技能が陳腐化したり、
機械が代わりにやってしまうようになるからだ。

だから今、必要なのは才能のかけ算。
1つの飛び抜けた専門性だけで勝負するより、
2つ、3つ、自分の好きなことや、
技能を組み合わせることで勝負する。
例えるなら、魔法もできる戦士=魔法戦士をめざす。
どちらの才能も仮に二流だったとしても、
両方できることでその道の一流になれる。
状況や時代の変化に合わせて、
戦術を使い分けていくことができる。

私は、ライターとカメラマン、
1人2役をこなせるカメラライターだ。
ライターやカメラマンは腐るほどいても、
カメラライターとなると数がぐっと減る。
技能を組み合わせることで、市場での希少性を確保し、
価格競争から脱し、競合相手の少ないその道のプロになる。
それが個性。
二刀流だからこそ、フリーの世界で生きていける。

1つに絞る必要なんかない。
好きなものがいっぱいあってもいい。
組み合わせることで個性を発揮すればいい。
それがこれからの時代を生き抜くヒントとなるだろう。



専門性なんてクソくらえ。

好きなことは何でもやればいい。



8 拙著写真集「工場地帯・コンビナート」で紹介した撮影スポットに、ほとんどのバスターが来ていた。ブームを追いかけるのではなく先取りして来るのを待つ。

様々な写真を網羅した写真集「戦う場所」「恋する場所」(MdN) 絶賛発売中。電子書籍版も販売しています。9

message6 場所に捉われないノマド(遊牧民)になれ

これまで人は場所に縛られて生きてきた。
結果、人生の選択肢は限られていた。
しかし通信技術の発展により、
場所に捉われる必要がなくなってきた。
いつでも、どこでも、情報のやりとりができる。
これは革命的なことだ。

場所に縛られずに働くスタイルをノマド(遊牧民)というが、
別にノマドはフリーランス(傭兵)に限った話ではない。
会社員だってノマド。
荷立ちを増幅させる通勤電車に乗り、
定時にオフィスに行く必要性は薄れている。
ライフワークバランスの観点からも、
災害時の事業継続性の観点からも、
ノマド的ワークスタイルへの移行は不可逆的なものだ。

にもかかわらず過去の常識に縛られ、
新しい技術や時代に合った働き方をさせない、
頭の硬い連中が上に居座り、
気合いと根性しかアドバイスできない輩がこの国をダメにしてきた。
日本が失われた20年とも言われるほど衰退したのは、
新しい方法を拒み、昔のやり方に固執しているからだ。

都市部での働き方だけではない。
被災地が復興できない要因の1つには、
過去の場所に捉われすぎていることもある。
100年に4度も津波が来ている場所に町を再建し、
放射能汚染された地域に金を注ぎ込むなんてあまりにバカげている。
それは郷土愛などではなく、過ちを繰り返す人災に過ぎない。

場所に捉われない生き方を。
それがこれからの時代を幸せに生きる、
重要なポイントとなるだろう。

message7 よそ者を受け入れない町に未来はない

国内各地を旅行して思うこと。
それはますます東京が一人勝ちし、地方が衰退していることだ。
リニューアルした東京駅には人が集まり、
スカイツリーにも全国各地から人が押し寄せる。
人口が減少して国内経済が縮小しているというが、
東京の発展ぶりは今もなおすさまじい。

場所に捉われない生き方が可能になった時代なら、
物価も高くても人も多い東京に集中する必要はない。
でも地方が衰退している原因の1つは、
未だによそ者を受け入れない風潮、
新しい方法を拒む風土があるからだ。

被災地に何度も足を運んでいると、
311という非常事態が起きたにもかかわらず、
隣町同士でいがみ合ったり、県外の人間を受け入れなかったり、
あまりにも情けない、視野の狭い人が多いことを痛感する。
だからお上の公共事業や原発マネーにしがみつくと。

一方、地方を活性化するために、
よそ者を積極的に受け入れている町もある。
徳島の漁村・伊座利は漁村留学という形で人を受け入れている。
宮崎の限界集落・秋元ではインターンで学生を受け入れている。
よそ者と新しい方法を積極的に取り入れている村は元気だ。

もう国籍すら無意味になった時代。
自分の小さな庭を必死に守るより、いろんな人を受け入れることで、
実り豊かな大きな庭にしていけばいい。

縮小均衡では緩やかな死を待つのみ。
「心の鎖国」をしていないで、違った価値観を取り入れ、
自分や地元の成長の起爆剤にしていく必要があるだろう。

message8 多様な価値観を養う旅と多読

「多様な価値観とサバイバル精神が重要になる」。

1999年、24歳の時に、会社を辞めてアジア放浪を4ヵ月して、たどりついた結論がこれだった。

偏狭な郷土愛やナショナリズムに縛られない。

価値観の違う人たちを受け入れる度量を持つ。

古いやり方に固執せず、新しい方法を取り入れていく。

こうした姿勢を養うには、旅と多読が一番だ。

日本は広い。世界はもっと広い。

いろんな場所を旅すれば、自分が考えていた常識が、いかに狭いかが身にしみてわかるだろう。

自分が思い悩んでいたことが、

いかにちっほけなことかがわかるだろう。

いろんな場所を旅することで、

多様な価値観とサバイバル精神が育くまれる。

もう1つは本を読むこと。

旅行に行けないのなら、

貪るようにいろんな本を読めばいい。

興味のある本はとりあえず買い、

つまらなければ読むのをやめて、

読みたい本だけを何冊も多読することが重要だ。

私も2012年から多読を開始した。

それによっていかに世界が広がったことか。

本にはこれからの時代を生き抜くヒントがいっぱい詰まっている。

狭い世界に閉じこもっていると、

とんとん心が澱んでいってしまう。

旅に出ること。本を読むこと。

それが様々な考え方を取り入れる手っ取り早い方法だ。

message9 国家が消滅し世界が1つになる

グローバルな時代と言われて久しいが、本当の意味でのグローバル化はこれからだ。

未だグローバルといいながら、国籍や日本企業といった概念からは脱しておらず、国という単位で富を競い合っているに過ぎない。

しかしこれからは本当の意味でのグローバル、ボーダレスな時代がやってくる。国家や国籍に関係なく、世界が1つの市場となり、世界中の人がネットで簡単につながる。国で発行する通貨という概念は消滅し、ネット上のポイントが世界共通の決済手段となる。国別の税金という概念もなくなるだろう。世界の経済の仕組みが180度変わる。

ギリシャを発端にした欧州債務危機をはじめ、米国や日本の財政危機ばかり、国家=国債=通貨が信用ならざるものになっている今、世界経済は大混乱に陥るだろう。でもそれは本当の意味でのグローバル世界を現出するために、避けては通れない道だ。

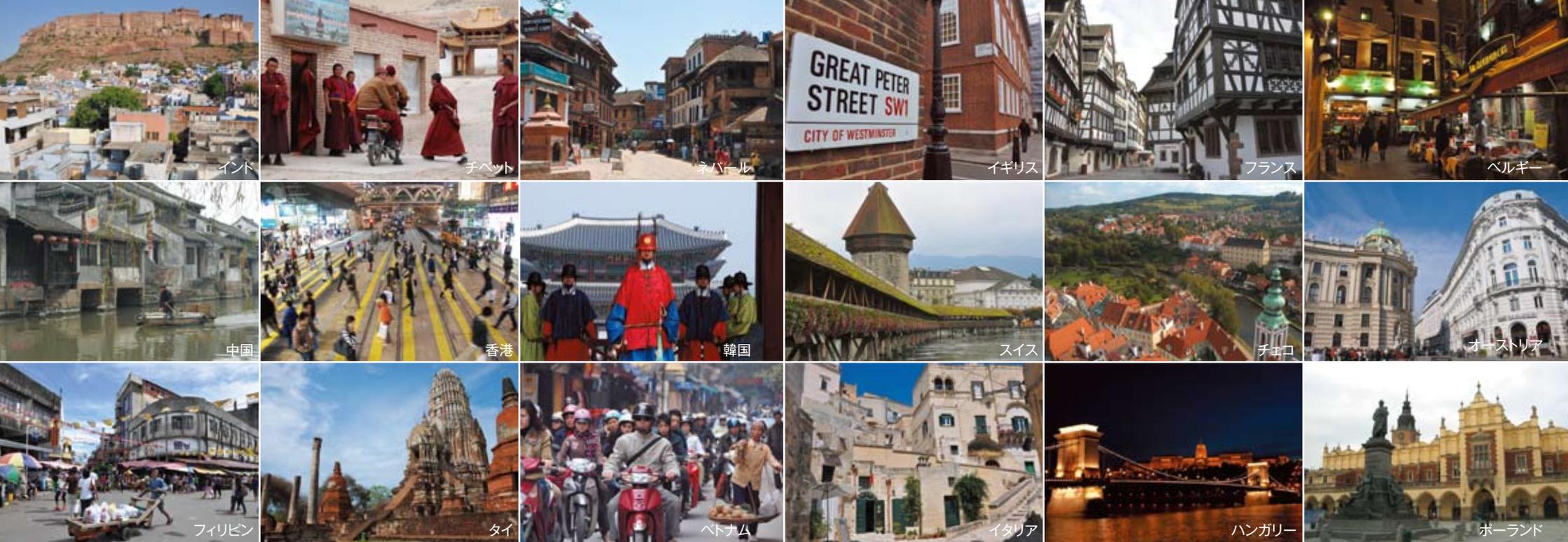
この時、国民も国家も軍国主義に逃避することなく、新しい世界社会の枠組みを作る方向に歩みを進めるべきだ。

そうなればネットを通じて個人が世界とつながり、あらゆるチャンスに満ちあふれた、輝かしい時代がやってくる。

つながるのは日本人だけである必要はない。

国益だけを考えている時代は終わった。

世界とつながることで、個人が活躍できる舞台が劇的に広がるだろう。



真にグローバルな時代到来。

海外旅行で幅広い視野を。



action 1 講演会実施

前回の「かさこマガジン2」で私ができることとして「講演」を上げた。でもこれまで私が講演したことは専門学校で2回しかない。「講演ってかさこさんは何を話すんですか?」と言われたこともある。私も「講演」と書いたものの、何を話すか具体的に決まっていたわけではなかった。

2012年に会社を辞めてフリーになるとは思ってもみななかったが、社長とケンカし、フリーになったこともあり、これはいいタイミングだと講演に力を入れようと思った。でも実績がない。そこで3月に開催したオフ会で、被災地取材を通した防災講演を行った。パワーポイントを2月に購入し、はじめて講演用のスライドを作った。そんな手探り状態から講演活動は始まった。

ところがその後、いろんなご縁があって、各地で公演をすることになった。4月には宮崎・高千穂で。8月、10月は東京で。10月は中学校でキャリア教育についての講演を行い、11月は山形酒田で3講演(被災地の話、生き方、写真教室)することに。11月は再び宮崎・高千穂に呼ばれて、講演することになった。

人前で話すことが苦手だと思い込んでいた私は、すっかり講演慣れするまでになり、話す題目もどんどん増えている。

やりたいことがあるなら、周囲に宣言し、自分で実績を作り、徐々に広げていけばいい。講演はまさにこうして定着していった。みなさんもやりたいことがあるなら、周囲に言いふらし、自主開催して実績を作り、そこから広げていけばいい。

やりたいことがあるならやればいい。100の言い訳より1の行動。私が行動した2012年の1つの事例が講演です。



撮影:くるみ

action 2 かさこオフ会実施

はじめてオフ会を開催したのは2010年12月のこと。これまでオフ会をしたことはなかった。人が集まるのだろうか。楽しい会になるのだろうか。不安ばかりがもたげていたが、ブログを読んでくれている多くの読者の方と会ってみたい。個別に会うことは何度もあったが、それだと敷居が高く感じる人もいる。もっと気兼ねなく読者も私に会える機会をと思い、開催した。

これまで1年に1回しか行っていないオフ会だったが、2012年は東京だけでなく、名古屋や山形でも開催するなど、何度も行った。オフ会に参加してくれた読者同士が仲良くなり、主催者としてとてもうれしい。私自身にとってもいいつながりがたくさんあった。

ネットをきっかけにつながり、さらにリアルでつながると、より親近感を覚え、いろんな連携ができるようになる。

ネットはリアル社会のポータル(玄関口)になっている時代。ネットだけのつきあいでもいいけど、リアルにつながってみたい。私自身、はじめは不安だったし、それにオフ会を開催するのは、人数把握やお店手配などものすごく手間がかかるけど、それでもやってみて、みなさんにお会いできるのが実に楽しい。

私は大の人見知りで交流会などにはほとんど参加しない。だって知らない人ばかりでつまらないじゃないですか。そんな問題を解決するため、かさこオフ会では、参加者全員に自己紹介をしてもらう。自己紹介だけで1時間以上かかることもある。でもそれがあるから、つながりやすくなる。

今後もオフ会を開催したいと思いますので、ぜひご参加ください!

action 3 かさこマガジン創刊

撮った写真を紹介する冊子を作りたいと前から思っていた。普段の仕事では顧客から依頼された冊子や季刊誌などを作っていたので、作るノウハウもネットワークもあったが、いざ自分の冊子を作るとなると、後回しになりがちだった。

会社で働いていた時から、いつかフリーになるだろうという思いと、個人の仕事で一番の収入源だった出版社の仕事が、数年後には頭打ちになるだろうという思いがあり、早めに作っておいた方がいいと考えた。

そこで個人の営業ツールもかねて、また読者により幅広く活動を知ってもらおうツールとして、自費冊子「かさこマガジン」を創刊したのが2010年のこと。500部作っても1000部作っても印刷代はあまり変わらないので、1000部作ったものの、大量の冊子が自宅に送られてきて、はて、これを配りきれぬのだろうかとも思ったりもしたが杞憂だった。

お金はかかるし、手間はかかるが、セルフマガジンを出すことの意義は想像以上に大きかった。はじめて会った人に自分の活動内容をわかりやすく紹介できること。かさこマガジンを送った新規先から仕事をもらったことも多数。ブログを見ていただいている方にも、私の活動をいろいろ知っていただくいいツールになる。

3号目は40ページ5000部にパワーアップした。より多くの人に配りたいと思っているので、追加で欲しい方は遠慮なくご連絡ください。

またぜひみなさんもセルフマガジンを作ってみてください。個人が主役の時代になる中、セルフマガジンは重要なツールとなるでしょう。



action 4 音楽活動スタート

まさか音楽を聴く側でなく、作る側になるとは思ってもみななかった。2012年にかさこ曲を作ってくださいという、ありがたい申し出があったのだが、私の力不足で作ってもらった歌をうまく歌えず、お蔵入りになった。

でもそれがきっかけとなり、音域の広くない自分でも歌えるシンプルな曲ができなかと、5月にインドから帰ってくるや否やギターを購入し、はじめての作詞・作曲に乗り出したわけだが、これがなかなかおもしろくて、一時期、毎晩のように作詞・作曲に明け暮れていた。

せっかく自分で作ったのでちゃんとレコーディングしたいと思い、またある著名音楽家にケンカを吹っかけ、ネット上で騒ぎになったこともあり、今のレコーディングがいかなるものか体験したいとの思いもあり、さらにまた「音楽業界の革命」を起こすべく、無料配信サイト「フリクル」を立ち上げたバンド、メリディアンローグの何かの応援になればとの思いもあり、フリクルに登録し、曲を配信することにした。

まったく自分でも予想もしていなかった音楽活動。でも趣味として、自分で作詞・作曲し、レコーディングし、配信するってとっても楽しい。

興味があれば、人間、何だってできる。そういえば22歳の時に、宅建の勉強がバカらしくなり、ギターを買って練習する方がいいと考え、一時期、ギターを弾いていたのが懐かしい。

興味があることは何だってやればいい。だって楽しいんだから。楽しい趣味があればそれだけで人は幸せになれる。



message 10 自分をプロデュースする

生きていくためにはお金が必要。

お金をもらうには誰かの役に立つことが必須。

そこで自分を“商品”としてセルフブランディングし、
自分プロデュース（演出）することが重要になってきた。

自分の強みは何か。自分の個性は何か。

自分が他人に役立てることは何か。

どんな知識に詳しいか。どんなことが得意か。

どんなことが好きか。

それをネットで発信し、他人に見せていく。

見せ方によってキャラが定まり、

キャラに惹かれたファンがつき、

ファンに役立つ情報を提供することで、

自分が生きていくためのお金を稼ぐことができるようになる。

そのためには自分を知ることが第一歩。

自分が何者かわからないのなら、

過去の経歴を棚卸しして振り返ってみればいい。

他人に自分のイメージを聞きまくればいい。

その上で自分の今後の理想像を描く。

10年後、20年後にこんな生活送れたら、

幸せだなんていう妄想を働かせ、

過去と未来をつなぐ現在の自分をつむぎだす。

日々、自分をネットで発信し、

自分のブランドを少しずつ作り上げ、

他人から見られたい自分にプロデュースしていけば、

生活に困らず、楽しく生きていけるだろう。

song 1 世界はおもしろさであふれている

空港降り立ち ふぁっと押し寄せる 現地の空気のみなぎる開放感

言葉違う景色違う人種違う 異次元の世界へ投げ込まれた

市場に売られてかぐ匂い 路地に迷って見る生活

現地で飛び交う謎の奇声 360度刺激あふれていた

広い広い広い……世界

思いもよらない出会いがいっぱい まるでこの世はファンタジー

世界はおもしろさであふれてるって気づいた

狭い狭い狭い……自分の世界

場所にとらわれ行動しなげりゃ いつまでたっても変わらない

意識次第で可能性は無限大だって気づいた

ところが変われば常識ぶっとび 大きな悩みもはるか彼方へ飛んでゆく

通勤列車に毎日揺られて 苛立ち募らせ不快気分 絶望感

朝がづらい仕事づらい会社づらい 毎日愚痴ばかりのオンパレード

ほんのちょっとだけでいい 通い慣れた道から外れ

普段と違った道行けば 新たな発見たくさん驚いた

つらいつらいつらい……社会

そんなにつらけりゃ今の生活とっとリセットすればいい

世界は選択肢であふれてるって知ったから

きらいきらいきらい……きらいな自分

そんなにいやなら必死で努力しめかつく自分を変えりゃいい

すべては自分の心の捉え次第だから

貴重な時間をつまらん時間に割いているほど人生長くはない

いつまでプリンカーつけて走ってる?

視界が狭けりゃ先行く道も限定されちゃう

広い広い広い……世界 まるでまるでまるで……この世はファンタジー

世界はおもしろさであふれてるって気づいた

狭い狭い狭い……自分の世界 もっともっともっと……広がる心の宇宙

意識次第で可能性は無限大だって気づいた

世界を旅すりゃ価値観ぶっとび 1日1日楽しい日々が変わってゆく

つまらん人生演出している自分が変われば世界は変わってゆく



श्री १०० वर्षावर्षीय उत्सव
श्री गुरुकुल मंडळ
श्री १०० वर्षावर्षीय उत्सव
श्री गुरुकुल मंडळ
श्री १०० वर्षावर्षीय उत्सव
श्री गुरुकुल मंडळ

LAXMI HANDBAGS

WESTERN UNION
WESTERN UNION
Phone: 022-22222222
www.westernunion.com

8 MBPS
HIGH SPEED
QUICK
CONNECTION
HEBREW
JAPANESE
KOREAN

Srinagar Garden
RESTAURANT

Mentex
RAJU PUSTAK BHANDAR - PUSHKAR

भंजीव
पास बुक



special 1 子供が生まれた

結婚して子供ができないことに対する周囲のプレッシャーは、すさまじいものがあった。あまりにも無神経な圧力から逃れるため、私は1つのウソをついた。私が旅行がしたいから、子供が欲しくないんだと。そうすれば、できないことは私のせいになる。

結婚して8年目。長年の不妊治療の末、妊娠がわかり、喜びに打ち震えた。しかしまさかの死産。絶望のどん底に叩きのめされた。

それから1年後。再び妊娠したことがわかり、今度こそという思いがあったが、流産。もう無理かと思ひ、あきらめかけていた。

その1年後の2012年。再び妊娠がわかったが、過去の2度の絶望を味わっただけに、無事に生まれてくるまで、まったく喜ぶことができなかった。むしろもう一度、何か悪いことが起きたらどうしようと、そればかり心配で、気が気ではなかった。だから誰にも言えなかった。でも無事に子供が生まれた。「子供は欲しくない」という他人に対するウソが、いつしか自分の本音のようにすりかわっていたが、私が誰よりも子供を望んでいたことが生まれてきてわかった。

子供が生まれたタイミングで、会社を辞めて、家で仕事ができるフリーランスになれたので、子育てに関われる時間が多く、とてもうれしい。

でも子供は子供。いつかは巣立っていく。今しかできない子育ての時間を大切にしたい。

それにしても当たり前のことが当たり前でできなくなった時代になった。就活、婚活、妊活。就職も結婚も出産も苦労している人が多い。でもそれらを実現することが幸せかどうかもわからない。就職してもすぐ会社を辞めてしまう人も多く、結婚し、出産したのに離婚してしまう人も増えている。でも親の世代は「当たり前の幸せ」を押し付けてくる。

でもこんなおかしな時代にしたのはおまえらのせいじゃないのか、若者にすべてのツケを押し付けやがってと、思ってみたらどうだろう。大事なことは、就職も結婚も出産も、親がどうの、周囲がどうのというところで考えず、自分が望むか考えること。でないと、就活、婚活、妊活が成就しても、本当に幸せになれるかどうかはあやしい。今は多様な生き方が許される時代。何が幸せかは自分で決めたい。

song 2 あたりまえ

当たり前のことが当たり前でできなくて悩み続けたこの10年
人としての定めをまっとうせよとプレッシャーにまいてた
簡単なことだと思っていたのにできなかった

いつもいつも他人と比較されてばかり
普通という名の呪縛に何度も悩まされてた
自分にはもうムリ あきらめてたけれど
あきらめきれずに一筋の奇跡にすがりついていた

歓喜にわいた瞬間 命が誕生する神秘
涙があふれるほどうれしかった
2度の死を乗り越え 生まれてきた小さな命
ぬぐいきれなかった 過去の絶望 希望に変わる

当たり前のことが当たり前になった日常
いつしかありがたみ忘れかけてた
あれほど望んでた夢みたいな生活に
不平不満ばかり探すようになっていった

手にした瞬間 新しいものばかり望みすぎてた
100%の理想ばかり追求め続けていた
この世の中に完璧なんかいない
そこにあるものだけで幸せだって気づいた

舞い降りてきた宝物 見える世界が一変した
のどから手が出るほど欲しかったもの
夢みたいな出来事 目の前のこと信じられなかった
でもねこの世で一番大切なもの手にしているとわかった

自分の年とわが子の年を数え比べながら
いつまで見届けられるって考えてた
今までとは違う新しい家族が加わった
長生きしたいなんてがらにもないこと思い始めてた
ここにある当たり前そっと手をふれて



special 2 読者に助けられた1年

「東北支援の物産展をするので、かさこさんの写真を展示してほしい」と読者の方から連絡いただき、はじめてお会いし、被災地写真パネルを制作し、鎌倉で展示することになった。「できれば写真に言葉をつけてほしい」。この一言で他の被災地写真とは違い、鎌倉ほか全国各地で展示を行う中、見た人の反応が大きく変わった。

「被災地取材を通した防災講演を宮崎でやってほしい」。読者の方から連絡いただき、限界集落で講演することになった。はじめての講演依頼だった。はじめて現地でお会いし、自宅にも泊めていただいた。

「生き方や働き方についての講演をしてほしい」と山形の方からメールをいただき、どうせやるなら1講演だけでももったいないという話の流れになり、3講演&写真展することになった。

「中学校でキャリア教育の講演をしてほしい」。何年か前に知り合った読者の方が先生になっていて、依頼をしてくれた。

またオフ会に何度も参加してくれている方々が、なんと私のために、出産祝いの会を開いてくれて、サブラ

イズで貸し切り工場夜景クルーズを企画してくれたりもした。むちゃくちゃうれしかった。

フリーになった2012年。同僚も部下も上司もないことはある種のさみしさがあった。でも私には読者がいた。私の想いや夢を手助けしてくれた。みんなネットを通じて知り合った、もともと会ったことがない人ばかり。「かさこさんにメールして大丈夫だろうか?」と声を掛けてくれた人たちは、みなはじめは不安に思ったそうだが、私がすぐ講演を快諾したことが意外だったみたい。ブログの印象と違って敷居は低いのでご安心を(笑)。読者の申し出や依頼は、可能な限り喜んでお引き受けたいと考えています。読者の方とコラボして、社会にいい意味でのアクションを起こす仕掛けを、これからもどんどんしていきたい。

何かあれば遠慮なくメールください。ネットという巨大な海で奇跡的に知り合ったのも何かのご縁。まずは行動。私にメールを送ってみることが、自分を変える、社会を変える第一歩になると思います。

自分が変われば、社会も世界も変わるはず。自分が行動することがすべてのスタート。

song 3 70億分の1セカイ

小さな小さな小さな平穏 どんなにどんなに幸せか
なくしてみなけりゃわからず なくした時には手遅れで
うざいと思った話も 余計なしつこい気遣いあるけれど
やさしさ思いの親切だったと 今さらわかってみたけれど
思いもよらない自然の猛威が 多くの命を奪い
ぼんやりした記憶の中 必死で思い出探す

70億人の地球の中で 出会った奇跡に感謝したい
どんなどこにだって 人住めるから
はじめて知った貴重な毎日 1秒たりとも無駄にできない
どんな時だって戻せないから 目一杯

毎日毎日毎日 おなじおなじメンツで顔合わせ
見慣れた見飽きた見知ったメンバー いつもとまったく変わらない
異性のタイプも嫌いな食べ物 なんでもかんでもお見通し
たまっていくのは互いの不満 ささいなことでもあら捜し
ふとした瞬間 ぼったりあの顔 見せなくなった今は
繰り返しの当たり前のありがたみに気づく

そこにいるだけのうれしさを 見失っていた後悔も
当たり前すぎて わからなかった
でもね今ならわかるんだ 永遠の別れを経験して
どんな人だって 出会った意味があったんだ

70億人の地球の中で 生まれた奇跡に感謝したい
どうせ生きるのは少しだから 精一杯 生きよう

special3 かさこマガジン無料発行を助けてくれる方々

「かさこマガジン」は年々発行部数が多くなり、印刷代はもちろん配送費だけでも莫大な費用がかかる。「かさこマガジン2」を増刷する際、前々からのネットの知り合いで、出版社も紹介してくれた名古屋の白井正己さんから「広告入れたいいいじゃないですか」とアドバイスをいただいたが、はじめは正直、自分の宣伝冊子に広告が入るわけがないと懐疑的だった。

しかし白井さん自身が「マガジン2」に広告を出していただき、さらにダメもとであちこちに声を掛けたと「宙出版」も広告を出してくれたおかげで、増刷分の印刷代をまかなうことができた。

今回の「かさこマガジン3」ははじめから広告募集を行った。またしても白井さんのアドバイス「1ページ5万円は敷居が高い。小スペースの枠を作ってほしい」とのアドバイスのおかげで、今回、9人の方に広告を出して

いただけることになった。大阪の理学療法士の森本直さんは、半年前にお会いした時から「かさこマガジンに広告を出したい」と言っていただき、見開きで出してくれた。

かさこマガジンを無料で発行できるのは、これから紹介する広告出稿者のおかげでもあります。ぜひこの方々のホームページを見たり、ツイッターやフェイスブックなどでつながっていただき、かさこマガジンをきっかけに新たなつながりを広げていただければうれしく思います。また、広告を出稿する予定はないけれど、「無料でさらっては申し訳ないので、お金を支払わせてほしい」という方が「かさこマガジン2」の時からかなりいらっしゃいました。基本的に無料でみなさんに配布していますが、「それでは私の気が済まない」という方は、下記の方法でご支援いただければありがたいと思います。

アマゾンのアフィリエイト

私のブログ記事の最後に「Amazonで買い物する際、下記よりお願いできればありがたいです」という記述の下に「Amazon」のリンクがありますので、お買い物の際はこちらからご購入いただくと助かります。購入代金の3~5%が私のところに入ります。ここで買っていたとしても料金が割高になることはなく、個人情報も私に知られることもありません。ブロガーが収入を得る一般的な方法は、ブログ記事に広告を張りまくることで、せっかくの記事が読みにくくなるし、買いたくもない商品のバナー広告はジャマなので、私はこの方法は今のところしないつもりです。アマゾンのアフィリエイト

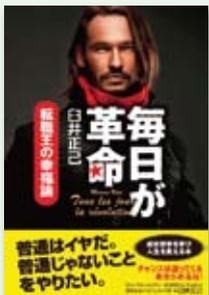
イトであれば、上記のようなわずらわしさがなく、記事やマガジンの対価として収入が入ってきますので、もしご協力いただける方がいらっしゃればお願いしたいと思います。

ぜひいろんな方に「かさこ」を紹介してください

私にとって一番ありがたいのは、みなさんが私のマガジンのことやブログのことなどを、リアルでもネットでもいろんな人に広めてくださることです。ツイッターでもフェイスブックでもブログでもリアルなロコミでも結構です。こんな人がある！と紹介していただけるだけでも大変うれしく思います。

大物に好かれる謎の男

PR



白井正己氏が主催したトークライブに、元幸福の科学副総裁大川きょう子氏（大川隆法氏と昨年末に離婚が成立）が訪れて話をしたり、川口徹元SSI社長が見に来ていたり、名古屋の居酒屋チェーンを経営する奥志摩グループの中村文也社長が名古屋から自費で東京に来て出演したりと、白井氏は不思議な魅力を持つ男だ。何がすごいのかはよくわからない。でも何か人とは違う。そして何より憎めないキャラ。漫談のような機関銃トークが多いようでいて、物事や人の本質をズバツと言いつける鋭い指摘をさらっと言ったりもする。私は白井氏のアドバイスのおかげで、本が出版できたり、多読するようになったり、講演を始めたたり、かさこマガジンに広告を入れるようになったりした。私はひそかに白井氏がさらっという一言に注意している。彼とつながっておくと、きっとおもしろいことがあると思います。YouTubeで「白井正己」で検索するとイベント動画が見れます。

最新刊「毎日が革命」
星湖舎より発売中!

●ブログ <http://ameblo.jp/masamiusui/> ●ツイッター @usuimasami
●フェイスブック masami.usui.52

まちが 生きている

MACHI IKI

ようこそ!

ここは「うどん県」にある、日本最大の商店街!

史上最年少の商店街会長・京藤真希と
都心から商店街の近くへ引越した大学生・木村暁明らが
商店街を舞台に繰り広げる人情コメディ漫画
『まちが生きている』…通称『まち生き』を
今回、かさこマガジンで紹介!

この漫画は現役大学生漫画家、イラストレーター
シロカネのホームページで無料公開中!!
(漫画を読む際はPCでの閲覧をお勧めいたします)

「好きを仕事にしたいなら継続的にネットで発表すべし」
との助言を実践している数少ない一人がシロカネさん
2人がどうなるか早く先が読みたいです! (かさこ)

詳しくは <http://shikomichi.shisyuu.com>
または、「うどん県 シロカネ」で検索!

twitter : @shirokane_
Facebook : Aki Shirokane
MAIL : shirokane25@gmail.com

© シロカネ

ますます元気な宙出版の好評本

第1回
Next大賞
受賞作家の
最新刊!

「枕草子」を本文もとに
現代的なマンガにアレンジした新感覚本!
名文を読みながらマンガで楽しめます。
一部を無料WEBマガジン
「Nextcomicsファースト」で無料公開中!

『春はあけぼの 月もなう 空もなお』
サメマチオ著 648円+税



年賀状でお馴染み、
Ricoのかわいいキャラクターが
イラストエッセイになりました!
人生に悩み、迷っている人の背中を
そっと押してくれる大人の絵本です。

かさご編集! DVD付!

『飛び出せ!! 自分っ』
Rico著 1200円+税



“お地蔵さんの本”
シリーズ累計
20万部突破!

『夢が人生をつくる』
『人生はいつでも今がいちばん』
『絆〜愛あればこそ〜』
殿村進著 各2400円+税

絵馬師・殿村進のほのぼのとしたお地蔵さんの絵と心温まる詩でつづる人生の応援歌!

ご注文・お問い合わせ

宙(おおぞら)出版 Tel:03-6861-3930(販売部) Fax:03-6861-3980
〒112-8653 東京都文京区音羽1-22-12 リーフスクエア音羽ビル
<http://www.ohzora.co.jp/>

Wordデータのプロフェッショナル **Work!LTD.**

PDF、印刷物、Adobe系データ などをWordデータ化します

社内でデータを一部加工・修正したいと思っても、PDFや紙媒体、Adobe系アプリケーションのために、加工しにくくて困っていることはありませんか? Word作成専門会社のWorkでは、誰もが加工しやすいよう、様々なデータをWordデータに置き換えて再現し、納品いたします。フルカラー対応、ページ物の書籍やマニュアルなども可能です。ぜひ一度、お気軽にご相談ください。

活用事例

- PDFデータからWord作成
- 印刷物・コピーからWord作成
- ExcelやPower PointデータからWord作成
- Word機能を使用している図・数式制作
- インデザインなどAdobe系データからWord作成
- Wordデータの新規作成・手直し・加工
- Wordデータから印刷用PDFへのデータ変換
- その他、Wordデータ制作に関する様々な作業をお願いします

お問い合わせ先

有限会社ワーク

〒135-0063 東京都江東区有明1-4-11-2118

電話:03-3527-7481 Email: eguchi@work1985.co.jp 担当:江口まで

<http://www.work1985.co.jp/>

こんな慌しい時代だからこそ 一杯の紅茶を楽しむ時間を

文明の発展と比例するかのよう
スピードアップしていく現代の暮らし。
忙しさに追われて、疲れていませんか?

一般的に「健康に良い」と云われるお茶。
しかしその成分うんぬんよりも、
生活の中に一杯のお茶を添える行為そのものが、
実は心の健康に作用しているのです。

汲みだした水を勢よく沸かし、
一杯の紅茶を淹れるささやかなひとときを、
日々の暮らしの中に、設けてみませんか?

美味しい紅茶のある暮らしを提案します。

安江 貴世

日本紅茶協会認定ティーインストラクター。兵庫県出身。兵庫県伊丹市在住。
日常生活での紅茶の楽しみ方を、TEASPOT (<http://teaspot.jimdo.com/>)にて発信中。

突然ですが…

あなたは健康ですか？

- ・夜はしっかりと熟睡できていますか？
- ・疲れやすくないですか？
- ・疲れがたまっていませんか？
- ・いつも手や足が冷えていませんか？
- ・足がむくんだままになっていませんか？
- ・しつこい腰の痛みで悩まされていませんか？
- ・生理で痛みで悩まされることはありませんか？
- ・すぐにほせやすいことはありませんか？
- ・お通じのない日が続いていませんか？

1つでも思い当たることがあった方へ…

これらは全て体からあなたへのサインです。そのまま何もしなくてもいいと思いませんか？メンテナンスをせずに動き続ける事の出来る機械はありません。

人間の体にもメンテナンスが必要なのです。理学療法士の国家資格を持ち病院勤務の経験がある医療従事者があなたの健康と美容の悩みに答えます。お仕事や子育てに頑張るあなたのために…

あなたの健康は何点ですか？

100点満点？80点くらい？それとも30点？？

毎日のおしごとや子育てで体がつらいことはありませんか？「冷え」や「腰の痛み」「生理の痛み」といった慢性的にいつも悩まされている症状はあなたの体の健康点数が下がっているサインです！

当整体サロンでは、

■「骨盤」(体の土台です)や「背骨」(体の柱です)から、全身に生じる筋骨格のゆがみを調整することができます。

■おなかの奥まで届く「深部筋膜テクニック」や生命のエネルギーの流れである脳脊髄液の流れを調整することのできる「頭蓋仙骨療法」により、各つらさの深くにある要因にもアプローチいたします。

■自分で気づかないまま「負担になっている体の癖」を体の使い方のプロである「理学療法士」の観点から修正し骨格が再びゆがむことのないようにカウンセリングを行います。

国家資格を持つ医療従事者が提供する お仕事や子育てに頑張る女性の為の 女性特有の悩み専門整体サロン 和庵～NAGOMIAN～

大阪市城東区蒲生1-12-2
メゾンフィール 701号室
nagomian701@gmail.com
10時から20時迄 完全予約制

TEL:090-1246-2298

施術料 9,800円 約40分
*施術の前後にカウンセリングを行う為、
実際は90分程度になります。

整体サロン 和庵 院長 森本 直(もりもと なお)

76年生 和歌山県出身 理学療法士
大卒後陸上自衛隊に入隊するも、
訓練で聴力を損傷した為に断念し
理学療法士となる。リハビリ職者への
講習会を開催する講師として活動して
いる中でセラピスト(特に女性)が
体の不調やアトピーなどのアレルギーに
悩んでいることから女性のための整体サロンを開業。



さきほどもお聞きしましたが…

あなたの健康点数は何点でしょうか？

健康点数が高いか低いかはあるものを見ればだれでもおおよそわかります。

それは隠しようのないものです。

答えは…「う・ん・ち」です！

いきなりきたくない話題ですみません。

ですが「うんち」は非常に重要な健康のパロメーターなのです。

厚生労働省の発表では、

現在日本人の死因の第1位は「悪性新生物(癌)」です。
癌の中で死因の第1位はどの部位の癌かご存じですか？
こちら発表されており「大腸癌」です。

特に女性はダントツで「大腸癌が1位」 なのです！

健康とは免疫機能の高さのことです。

腸は体の免疫機能と切っても切れない関係があります。
成長期までは胸腺が免疫機能をになっていますが、
成人すると退化し、腸管免疫へと切り替わります。
ここで、免疫をになう白血球の活動は腸の中の腸内細菌に依存していることが最近わかってきました。

腸内には約100～200種類、100～200兆もの腸内細菌が存在しており、

「善玉菌」「日和見菌」「悪玉菌」の3つにわけられます。
うんちをみれば、善玉優位か悪玉優位かのバランスがすぐにわかるというわけです。

「悪玉菌」は腸の中を腐敗させます。

便秘は長時間うんちが腸の中にあることによって腐敗し、腸管免疫を極端に低下させるといわれています。

癌になりやすい人の特徴に便秘があり、特に女性は便秘になりやすいので大腸癌がダントツに多い要因の1つであるといわれているのです！

悪玉菌優位のうんちは黒くて強烈におうのが特徴です。

逆に善玉菌優位のうんちは黄色にちかくほとんどにおいませぬ。

このようにうんちを見ただけでその人の健康状態を推測することができます。

ゆえにうんちは大いなる便り(大便)といわれます！

ということは…

腸内の環境を善玉菌優位に保つことができれば免疫システムも常に保てると考えられます。

最近生きた菌入りの飲料等を飲むことをうたったCMが多いのですが、生菌は胃を通過する際胃酸でほとんど死滅し、わずかに残った菌も腸に定着せずに通過するといわれています。

そうであるならば、元々腸にある菌が増殖する為のエキスを取り入れるのが、

一番効率的ではないでしょうか？実際に効果があるかどうかはうんちをみればすぐにわかるのですから。

当サロンでは、業界最高級の濃度のある、乳酸菌生産エキスを導入しています。

結果がでるかどうかはうんちをみればすぐにわかるため、自分自身でも愛用して効果を実感しています。

効果に自信があるため、当サロンでは、乳酸菌生産エキス完全返金保証キャンペーンを現在実施中です!! 是非1度お試しください!!

遠方の方や日ごろ忙しくて時間が取れない方の毎日の健康管理に自信をもってお勧めいたします。

ご希望の方は、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・ご職業・連絡取れる電話番号を明記の上、左記の和庵までメールかお電話下さい。



原発20キロ圏内に 取り残された猫を救え!

～動物救護隊 社団法人にゃんだーガード



福島原発事故により、死の町と化した原発20キロ圏内には、多くの猫や犬が取り残されたままだ。「猫や犬だって大事な家族。人を助けるのと同じように救うべきだ」との熱い思いから、311以降、名古屋から福島に拠点を移し、動物救護活動をしているのが社団法人にゃんだーガードだ。主な活動は、①20キロ圏内に取り残された犬・猫のために自動給餌機を設置し、定期的に補給、②20キロ圏内で救った犬・猫を飼い主や里親が見つかるまで、福島県三春町のシェルターで保護。私も取材させていただいたが、人手も資金も十分とはいえ、ギリギリの状態ながらも、犬・猫を救うために日々がんばっていた。様々な方法での支援がありますので、ぜひ犬や猫のために協力してくれる人がいると助かると思います。



支援金

1日100円玉1個として月に3000円のご支援をお願いできないでしょうか? シェルターの維持費・医療費などに使わせていただきます。

- 銀行: ゆうちょ銀行
- 口座名義: にゃんだーガード
- 【ゆうちょ銀行から】
- 記号: 12130
- 番号: 35335621
- 【他行から】
- 支店名: ニー八(ニイチハチ)
- 種別: 普通
- 口座番号: 3533562



活動内容など詳しくは「にゃんだーガード」ホームページをご覧ください。 <http://nyanderguard.org/>

ボランティア

シェルターでの犬や猫のお世話、支援物資の整理、シェルターでのまろもろの作業など常時人手が足りません。1日でもお手伝いに来ていただければ助かります。

ボランティアのお問い合わせは、
nyan4533@yahoo.co.jp
までお願いいたします。

2012年12月現在、20キロ圏内には猫が約3000匹、犬が約40頭、線量が高い飯館村・葛尾村には猫が約600匹、犬が約180頭、取り残されており、給餌・救出活動に動んでいます。にゃんだーガードのシェルターには猫を約100匹、犬を20頭保護しており、シェルターの維持に苦勞しています。1匹でも多くの猫や犬が幸せに暮らせるよう、みなさまのご協力をお願いいたします!
代表理事・本多明(ニックネーム:ぶたまる)



支援物資

不足物資をホームページで随時更新していますので、下記にご送付いただければと思います。

〒963-7733
福島県田村郡三春町
山田字福内100-1
にゃんだーガード本部シェルター
TEL:0247-73-8915



report 1 死の町と化した福島原発20キロ圏内潜入

「あなたの町は一生、住めなくなりました。どこか他の土地に逃げて暮らしてください」。こんな信じられないことが日本で現実になった。2012年3月。私は一般の立ち入りが禁止されている、死の町と化した福島原発20キロ圏内に許可を得て入ってきた。津波や地震で被害を受けている住居もあるが、まったく被害を受けていない、真新しい家も多い。しかしここは死の町。無人の町。人が住めない町になってしまった。原発事故による放射能汚染のためだ。

死の町に入ったところで、ここが汚染された場所という実感はまったくない。頭痛がするわけでもないし、息苦しくなるわけではない。悪臭がするわけでもない。ただ私の目の前に置かれた、ガイガーカウンター(放射線測定器)の数値だけが異常を知らせてくれる。

通常なら0.03~0.07マイクロシーベルト毎時にもかかわらず、東京電力福島原発に近づくにつれ、線量は1になり、2になり、5になり、10になり、20になり、最高40マイクロシーベルト毎時まで上がった。見た目は何の災害も汚染もない平穏な住宅街だが、測ってみると恐ろしい数値。目に見ることができない汚染の恐怖を体感し、津波や地震とはまったく違う原発の恐ろし

さを肌で感じた。津波や地震、火山噴火、竜巻などで、家が破壊され住めなくなるのは仕方がない。でも何も破壊されていないのに、復旧も復興もできない、それどころか許可がなくては我が家に立ち入ることすらできない恐ろしさ。こんなとんでもないことが日本で現実起きた。そしてそれは福島だけでなく、全国に配置された原発という名の時限爆弾によって、いつ誰が同じ目にあうかわからない。

こんな恐ろしいことが日本で起きているのだが、経済発展という名の目先の利益のために、原発は再稼働されようとしている。死の町に行った私からすれば、それは信じがたい自殺行為に思える。

「原子力 郷土の発展 豊かな未来」
「原子力 豊かな社会とまちづくり」
「原子力 明るい未来のエネルギー」
「原子力 正しい理解で豊かなくらし」

誰もいなくなった死の町に残された大きな看板。この町に訪れたのは豊かな未来ではなく、永遠の死だった。

巴李古 Pa li co. 巴李古 (ぱりこ) はネコ雑貨を手作りしたり
オーダーメイドアクセサリーを制作したり
デザインやイラストのご依頼を承ったりしている
わりと何でも屋のお店です。

ネコ雑貨 **アクセサリー** **デザイン**

ポストカードや缶バッジ等
色々なネコ雑貨を制作・販売

ブレスレット・ネックレス・ピアス…
制作・販売&オーダーメイドも!

ロゴやCDジャケットのデザイン等
イラスト制作も承っております。

詳しくはこちらのアドレスをチェック! (PC・携帯対応)

<http://palico.chu.jp/> palico 検索

お問合せは
こちら

✉ palico@ai.to twitter @pali_co
☎ 050-3478-6653 (10:00~18:30)

※実店舗はございません。通販のみの販売となります(一部委託販売あり)

totoRi
～被災地発のブランド～

「東北に幸せを運ぶ鳥」をイメージして、～トトリ～と名付けられました。作品はすべて、石巻の「ちくちくカフェ」で女性たちが手づくりしています。

たとえばこの「ぼんぼんヘアゴム (840円)」、ひとつにつき200円が作った本人にキャッシュバックされます。

被災地の仮設住宅などに住む方々、特に女性たちは、生活に必要なものは得られるようになって、毎日どうやって過ごしたらいいかわからず、不安を抱えて過ごしています。そんな中で、集会所に集まっての手仕事は、心のやすらぎと生活の支えとなっています。

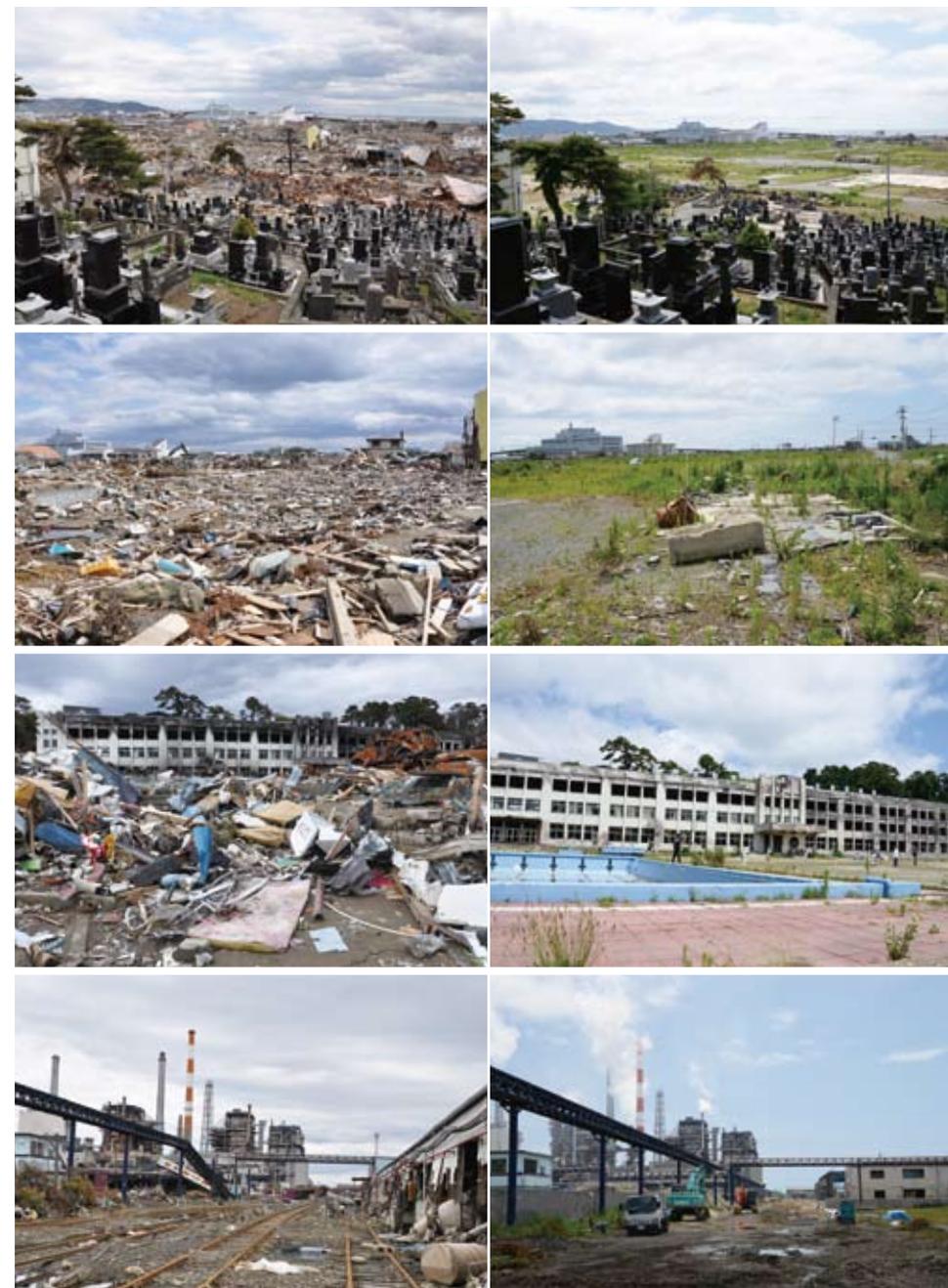
トトリのアイテムは「東北ちくちくプロジェクト」の公式サイト上でお買い求めいただけます!

東北ちくちく <http://chikuchiku.soyokazeya.com/>

report2 被災地の変化(宮城県石巻市)

2011年4月20日撮影

2012年7月8日撮影



1975~1987年
子供時代(0~11歳)

1975年2月に静岡の病院で生まれた後、横浜・鶴見で育つ。11歳の時に横浜から埼玉県上福岡市に引越。引越前に鶴見線の撮影。「ドラクエ1」は小学校の中で誰よりも早くローラ姫を助けたため「勇者かさこ」のパスワードが出回る。ぜんそくで入退院を繰り返す。

1987~1993年
中学・高校時代(12~18歳)

埼玉県上福岡市立第一中学校。バスケ部。每晚ポテチを食べながらニュースステーションを見て、政治・社会に興味を持つ。その後、映画「ウォーターボーイズ」の舞台にもなった埼玉県立川越高校へ。バスケ部。高3の時に授業で紹介された「現代政治の思想と行動」(丸山真男著)に感銘を受け、国立から私立に進路変更。この頃「ロードス島戦記」をあっという間に読み終えてしまい、「グイン・サーガ」に手を出す。

1993~1997年
大学時代(18~22歳)

中央大学法学部政治学科。なんちゃってテニスサークルで会長。マクドナルド2店舗でマネージャーとしてアルバイト。大学3年から東京・日野市で一人暮らし。海外旅行に何度か行くようになる。

1997~1999年
大手消費者金融アイフル(22~24歳)

不動産担保ローン営業部で融資担当。入社2カ月目で社内の月間最多契約件数4件融資、入社4カ月目で社内の1件あたりの最高契約金額6000万円の融資を行い、半期で融資1億円プレイヤーに。その後は全国の不動産担保ローン営業部で毎期トップセールスの実績を誇り、在職中の2年4カ月間で約10億円の融資を行う。23歳の時に100万円で「エジプト旅行記」(新風舎)自費出版。

1999年
4カ月のアジア放浪(24歳)

「深夜特急」(沢木耕太郎著)に憧れ、会社を辞めてバックパッカーに。陸路・海路を使い、日本→韓国→中国→モンゴル→中国シルクロード→チベット→ネパール→インド。一度帰国後、日本→中国→カザフスタン→ウズベキスタン→トルコの旅。

2000~2002年
広告系編集プロダクション(25~27歳)

帰国後、ホームページ「かさこワールド」立ち上げ。転職活動中「3年でフリーになる宣言」で編プロに採用。編プロでは主にPR誌、会報誌などの制作を行い、編集・ライターとして勤務。カメラライターの先輩に出会い、影響を受ける。個人で旅行の連載記事も担当。27歳の時に突如、椎間板ヘルニアになり寝たきりに。日帰りレーザー手術60万円の失敗後、切開手術をして1カ月入院。退院を機に、退職。結婚し、新婚旅行はロンボク島へ。数カ月間フリーで仕事。

2002~2004年
旅行系編集プロダクション(27~29歳)

旅行ガイドブックの制作をしている編プロに転職し、編集・ライター・カメラマンとして勤務。「るるぶラスベガス」「るるぶアメリカ西海岸」「るるぶウィーン・プラハ・ブダペスト・ワルシャワ」の現地取材・執筆・撮影・編集を担当。学研の語学書、資格本などの編集、執筆も行う。

2005~2012年①
金融系編集プロダクション(30~36歳)

金融・経済・投資関連の冊子、記事制作の編プロにて編集・ライター・カメラマンとして勤務。日経新聞やマネー誌の記事広告や金融機関のパンフレット、企業の会報誌を制作。主に金融・経済・投資・不動産関連の記事など執筆・撮影。金融専門誌「ユーロマネー日本語版(現「Jマネー」)」の副編集長。

2005~2012年②
個人でライター、カメラマン(30歳~36歳)

編プロに社員として勤める傍ら、「サラ金トップセールスマン物語」などのノンフィクション5冊、「工場地帯・コンビナート」などの写真集を11冊出版。猫雑誌の連載やWebで世界遺産などの連載も。

2012年~
完全フリーランスに(37歳~)

金融、経済、不動産、旅行関連の執筆・撮影を行う。生き方、働き方、撮影術などの講演活動も実施。

かさこができること

年間8万枚の撮影、年間60万字の執筆をこなすプロガー、写真も撮影できるライター=カメラライター。トラベルライター、金融ライター、不動産ライター。世界各国、日本各地の取材・撮影済みの膨大なストックを活かして、主に下記のような仕事への対応が可能です。

◆すでに取材済みの写真と文章で記事を提供

これまで世界30カ国、日本も各地、様々なテーマで全国を飛び回り、膨大な写真ストックと取材ネタのストックがあります。Web、雑誌、書籍、会報誌などに、「取材費はないけどテーマ性のある取材記事が欲しい」という場合に、ストックを活かして写真・文章ともに記事の納品が可能です。

◆ライターとカメラマン仕事を1人で請負可能

私なら、ライターとカメラマンを兼ねてできます。撮影も素人に毛がはえた程度の写真ではなく、カメラマン並みのクオリティで提供できます。遠方などで交通費がかさむ場合や、制作予算が限られている場合、クオリティを下げることなく予算縮減ができます。

◆写真貸出

写真ジャンルは様々あります。まとめて数十点借りたいので、レンタルフォトサイトだと割高になってしまう、観光名所だけでなく世界の路地裏や市場や人物の写真が欲しい、今ブームとなっている工場写真を借りたい、法人ではなく個人で借りたいが、そんなに予算がないといった場合などでも、貸出料金を一律に決めていないので、みなさまの予算に合わせて柔軟に対応できます。

◆書籍出版

ホームページのストックを活かして書籍として出版したい、という打診にも喜んで応じています。ゴーストライター、新規取材物も対応可能です。

◆講演

「被災地取材を通じた防災講演」「簡単、写真撮影術」「好きを仕事にする方法」「本を出す方法」など、生き方・働き方・旅行といった様々なテーマで講演可能です。遠方でも喜んでお引き受けしたいと思います。

◆有識者としてのコメント

新聞、雑誌、テレビ、Webなどで、サラ金、旅行、工場写真家など様々なテーマについて有識者のコメント、取材についても喜んでお受けしています。

「かさこ」という名前について

「かさこ」は本名ではありません。苗字は「笠原」です。小学2年の時に「かさこ地蔵」が授業で取り上げられた

のをきっかけに、「かさらは」だから「かさこ」になり、以後、「かさこ」と呼ばれ続けて、「笠原」といっても誰もわからないほど定着した呼び名になりました。「笠原」といっても学生時代の友人は誰のことかわからないので、ネットの登録名はすべて「かさこ」で通っています。著者名に「笠原崇」がありますが、本名ではありません。「かさこ」で出版したかったものの、サラ金本が「かさこ」では迫力がないとの判断から、無理やり当て字をしたものです。「こ」を「虎」にしたのは阪神タイガースファンだったから。

ネットはリアルな出会いのポータル。
かさこにメールを!

kasakotaka@hotmail.com
概ね24時間以内に返信します。

- ① 会って話をしたい方：どんな人が一度会ってみたい。いろいろ話をしたいという方はメールください。時間が合えば個別にお会いさせていただきます。
- ② 進路相談したい方：「トラベルライターになるにはどうしたらいいか?」「文章を書く仕事に転職したい」「本を出したい」など、学生や社会人の方からメールをいただくことが多く、時間がある限り直接会ってアドバイスしています。
- ③ 記事に取り上げてほしい方：ブログに取り上げてほしいという方はメールください。私がおもしろそうと感じたら取材し、掲載いたします。
- ④ 私に取材したい方：基本的にどんな媒体でも断らずお受けしています。
- ⑤ 仕事をお願いをしたい方：旅行記事を写真入りで書いてほしい、写真を貸してほしい、撮影をしてほしい、あるテーマに沿って執筆してほしい、ホームページのコンテンツを書籍化したい、講演をお願いしたいなど、仕事の依頼がありましたらメールください。

かさこのネットツール一覧

- ▶ ホームページ「かさこワールド」
<http://www.kasako.com/>
- ▶ ブログ「つぶやきかさこ」
<http://kasakoblog.exblog.jp/>
- ▶ ツイッター
<http://twitter.com/kasakoworld>
- ▶ Facebook「かさこたか」
<http://www.facebook.com/kasakotaka>
- ▶ Youtube「かさこチャンネル」
<http://www.youtube.com/kasakotaka>

気軽にフォロー、友達申請していただければ! 基本、フォロー返し、友達承認します。



かさこ活動理念

文章、写真などを通じて、多くの人に"気づき"を与えていき、
それによって社会を良い方向に向けていきたい。

①情報の偏りを正す

近年、情報はあふれかえっているほど多く、しかもネットのおかげで情報が入手しやすくなったにもかかわらず、情報の"偏り"がひどくなっていると感じます。結果、マスコミ主導による世論づくりが国民の考えの大勢を決し、極めて偏った一方のみの意見に流されていく、といった現象が年々多く見られるようになってきました。また、世の中の「空気」に支配され、反対意見を言にくい雰囲気もあります。

こうした情報の偏りを正したい。そこで違った見方や考え方を提示していきたいと思い、2000年2月から、毎日更新日記「つぶやきかさこ」を始めました。

当たり前の話ですが、私の書いたことがすべて正しいわけではありません。私の考えを読者に押しつけるものでもありません。ただ私の文章を読むことで、「そういう考え方もあったのか」と気づけば、一方向に偏った事象の違った側面が見えてきて、より多方面から見た適切な判断ができるのではないのでしょうか。

時には極論、毒舌、突拍子もない内容の記事があるかもしれませんが。しかしそれによって読者が何かに気づくことができれば、社会で起きている事象を多面的に分析することができ、問題を解決する有効な手段を発見するきっかけになると思います。

②前向きに楽しく生きる人を増やす

今の日本にはあまりに悲観論が漂いすぎていて、そのせいで未来に希望を持っていない人が多く、恵まれた環境にありながら、前向きに楽しく生きることを忘れていていると感じます。

ほんのちょっと考え方を变えるだけで、灰色の世界がバラ色に見えるようになる。ほんのちょっと意識を変えただけで、今までできないと思っていたことができるようになる。

私も20代前半までずっと悲観的に生きてきました。「政治が悪い、社会が悪い、時代が悪い。だから自分が努力したってできるわけがない」と。でもそうではないということに気づき、意識を変えたら、人生楽しくなり、次々と夢が実現するようになりました。

その方法を少しでも読者の方に伝えていきたい。こうした思いから、毎日更新ブログ「つぶやきかさこ」で、前向きに楽しく生きるにはどうしたらいいか、ヒントとなるようなことを伝えていきたいと考え、日々の更新を行っています。

自分も楽しく、みんなも楽しい社会になるには、1人1人の意識が変わることが大事。「かさこワールド」がそのきっかけになれば幸いです。

epilogue 他人を変えるより自分を変える

政治が悪い、会社が悪い、上司が悪いといったところで、他人を変えることは不可能に近い。だからこそみんなあきらめてしまう。自分の力で他人を変えられることなどできないから。

でも自分は変わらないのに、他人ばかり批判して、何もしない人たちが多から、時代や社会はより悪くなり、生きにくくなってしまっている。

日本は変わった。世界は変わった。
あなたは変わった?
既得権益はあなたです。

他人を変えることより自分が変わることに
まずそこから始めてほしい。
上司が会社に来る時間は変えられなくても、
自分が会社に来る時間は変えられる。
自分が行動で示して、初めて周囲を変えられる。

私はそのことに気づくのに25年かかった。
自分が変わればいいんだ。
他人を変えようとするより、よっぽど簡単。
間違いなく成果が目に見える。結果がついてくる。
自分が変わると周囲も変わる。
自分が変わるといい人に出会えるようになる。
ここから幸せの好循環がスタートする。

個人が生き生きと暮らせる、住みよい社会を作りたい。
そのためには、一人でも多くの人が、
自分を変えて自ら行動できるようになることが重要。
そのきっかけとなるよう、ブログやツイッターで、
毎日様々な“石”を投げていきたい。
その“石”に反応し、今まで動かなかった人が、
行動するきっかけになればうれしい。

これから個人が主役の時代になる。
行動した人が幸せになる。
「かさこマガジン」を手にとった方が、
どんな厳しい時代でも毎日が楽しいと言えるよう、
これからも情報を発信していきたいと思います。

著書一覧



写真集

「工場地帯・コンビナート」(2007年)／「団地・路地裏・商店街」(2007年)／「学校・学園・学園」(2008年)／「洋館・洋風建築」(2008年)／「歓楽街・繁華街・夜の街」(2009年)／「城・甲冑・古戦場・武具」(2009年)／「奇観建築・王宮・産業遺産・廃墟」(2009年)／「警察・病院・消防署・ハイパーレスキュー」(2010年)／「会社・オフィス街・高層ビル群」(2010年)／「ヨーロッパの街並・路地裏・村」(2011年)／「ヨーロッパの邸宅・宮殿・教会」(2011年)グラフィック社、「戦う場所」(2012年)／「恋する場所」(2012年)MdN



文章

「サラ金トップセールスマン物語」(2005年)花伝社／「アイフル元社員の激白」(2006年)花伝社／「金融屋」(2007年)彩図社／「トンデモ偉人伝-臨終編」(2008年)彩図社／「サラ金全滅〜過払い金パブル狂乱」(2010年)共栄書房／「検証・新ポラントニア元年」(2012年)共栄書房

プレゼント 「かさこマガジン3」の感想や紹介をブログで書いていただいた方の中から、私の気分次第で何名かに上記書籍のいずれかをプレゼントいたします。メールやツイッター、フェイスブックにて、感想を書いたURLとお名前をお知らせください。

連絡先 連絡が早いのはメール。
kasakotaka@hotmail.com
 ほぼ24時間以内に返信します。
 TEL:080-5176-8906